

事務事業名		茨城栃木鳥獣害広域対策協議会参画事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	050105000866
		政策体系上の位置付け					単独/補助	単独	所属課	050101
政策体系	総合計画の施策名	0501	農業の振興			主要事業	対象外			農林課
	政策名	05	魅力と活力のある産業社会づくり			市長マニフェスト	対象外			
	施策名	01	農業の振興			未来PJ事業	対象外	グループ	農林G	
	基本事業名	05	農村環境の保全			合併建設計画事業	対象外			
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し (年度～)	
	01	06	02	01	03	00	有害鳥獣対策事業		➡ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像） 自然豊かな八溝山地を有する茨城・栃木両県における地域の鳥獣被害を防止するため、市町村の枠を超え広域で緊密に連携し、様々な取り組みを行うことを目的としている。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・役員会及び総会への出席 ・研修会への参加 ・広域でのイノシシ一斉捕獲実施に係る事務 ・負担金の支払い ・その他各種事務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段（担当者の活動内容）	④活動指標（活動量を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
- 役員会及び総会への出席 - 研修会への参加 - 広域でのイノシシ一斉捕獲実施に係る事務 - 負担金の支払い - その他各種事務	参加自治体数	市町	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象（誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
イノシシによる被害を受けている農作物	桜川市における農作物の被害面積	h a	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図（この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
広域でのイノシシ対策の実施により、イノシシ被害対策を充実させる	桜川市における農作物の被害金額	千円	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)	29年度 (目標)	30年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	30	30	30	30	30
			事業費計（A）	千円	30	30	30	30	30
	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	
		述べ業務時間	時間	10.00	15.00	15.00	15.00	15.00	
		人件費計（B）	千円	29	44	44	44	44	
トータルコスト(A)+(B)			千円	59	74	74	74		

27年度事業費実績(千円)				28年度事業費予算(千円)			
19 負担金補助及び交付金	30			19 負担金補助及び交付金	30		
		合 計	30			合 計	30

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容

29年度の事業内容

30年度の事業内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する

- ・主要事業
- ・市長マニフェスト
- ・未来PJ事業
- ・合併建設計画事業



事務事業名	茨城栃木鳥獣害広域対策協議会参画事業	事務事業No.	50105000866	所属課	農林課
-------	--------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
増加する鳥獣被害に対応するため、農林水産省からの勧めにより県境を越えた広域での協力体制で、鳥獣被害防止対策を実施することとなった。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
市町単独ではなく、周辺市町が連携することによってできる、効率的な対策が期待されている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	☒ 結びついている 有蓋鳥獣による被害は増大しており、対応策の一つとして近隣市町との連携による被害防止対策は必要不可欠である。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	☒ 妥当である 市町単位での連携が望ましいと思われる。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	☒ 向上余地がない 茨城県・栃木県の境にある八溝山地沿いのイノシシ被害が多い市町が参加している。今後は加入市町が増える可能性がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	☒ 影響有 今後更なる連携の他市町との連携が薄れ、広域での一斉捕獲もできなくなるため、捕獲の成果は落ちてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒	☒ 連携ができる 市の有害鳥獣捕獲事業と連携し、広域での一斉捕獲を行うことで、捕獲の成果は上がると考えられる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	☒ 削減余地がない 参加市町が一律で負担金を支払っており、額の削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	☒ 公正・公平である イノシシによる被害は市内広範囲に及んでおり、受益者負担は公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																					
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	広域で連携することで、単独では実施が難しい対策が実施できるようになった。今後は更なる協力体制の下、市の有害鳥獣捕獲事業などと連携しより効率的な対策を実施していく。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																					
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う ☐ 現状維持 ☐ 廃止 ☐ 休止		(複数回答可) ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☒ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☒ 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 市の有害鳥獣捕獲隊との調整を行い、一斉捕獲ができるよう進めていく必要がある。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(6) 事務事業優先度評価結果																							
成果優先度評価結果		⑧																					
コスト削減優先度評価結果		⑥																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☒ 確認